

パパ・ママ子育て知恵袋

第27回は「祈る」

次男が家を出て、1週間がたちます。

日々の忙しさで、さみしさが紛れていましたが、1週間たって、やはり心配でメールをしました。

「風邪ひいていませんか。食事はちゃんととっていますか」これだけ。翌朝、返信がありました。おそらく出勤途中の電車の中からでしょう。「大丈夫です。心配ありがとう。父も体調に気をつけてください」。

……。

この子が幼稚園児のとき、ささいなことで、こっぴどく怒ってしまったことがあります。泣きじゃくる顔を忘れることができません。あんなふうに怒らなきゃよかった。

でも、息子よ、優しい子に育ててくれて、父は幸せです。

パパママ、親なんて、こんなものです。

いくつになっても、子供の一言で幸せになれる。

さて、子供の成長を後押ししたり、見守ったりするのが親の努めでしょう。子供が幸せになるなら、何でもできるのが親です。でも、具体的に何をしてやればいいのか、何をしなければいいのかわかりません。

次男からのメールを何度も読み返しながら、結局、親にできることは子供の幸せを「祈る」ことしかないような、そんな気がしてきました。

実家の母からメールが届きました。

「身体は大丈夫ですか。毎日、お仏壇にお祈りしています」。

私は、この人に59年間祈り続けてもらっているんだと気づきました。